

## 平成 29 年度 第 1 回 熱海市総合教育会議 会議録

1. 開催日時：平成 29 年 5 月 23 日（火） 15 時 30 分～16 時 10 分
2. 会 場：熱海市役所第 3 庁舎第 1～3 会議室
3. 出席者：【構成員】市長[議長]・教育長・原委員・水野委員・若井委員・木田委員  
【関係者】副市長・経営企画部長・健康福祉部長  
【事務局】企画財政課長・教育委員会事務局次長
4. 議 事：①平成 29 年度教育行政の基本方針と主要施策について  
②図書館サービスの充実について
5. 議事要旨：以下のとおり。

### (1) 開 会

### (2) 市長あいさつ

本日は、お忙しい中、平成 29 年度第 1 回熱海市総合教育会議にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。また、日ごろより熱海市の子ども達の教育の充実と発展に大変なご尽力を賜っておりますことを感謝申し上げます。

昨年度は本会議において、学校施設の適正規模・適正配置や姫の沢自然の家、本年度予算の編成にかかる貴重なご意見をお伺いでき、委員の皆様には大変感謝申し上げます。本日の会議においては、「平成 29 年度教育行政の基本方針と主要施策について」及び「図書館サービスの充実について」を議題として議論を進めて参りたいと思います。教育委員としての皆様のさまざまな立場から、教育に対する自由な意見をいただき、お互いに意思疎通をはかり、教育行政の推進を図って参りたいと思います。

皆様の活発な討議をお願いいたします。

### (3) 教育長あいさつ

本年度、静岡県教育委員会では個人として自立し、人との関わりを大切にしながら社会に貢献できる有徳の人の育成を目指し、社会総がかりで子どもを育てる環境づくりを推進しております。この方針を受けまして、熱海市教育委員会では熱海の未来をひらく人づくりを基本方針として、時代を担う子ども達がたくましく生きる力を育み、心豊かに成長する教育を推進することとしました。そこで熱海学習を掲げ、地域の人、もの、文化、自然を生かした学びの連続性のある教育活動をするとともに、中学校区を一つのエリアとした幼保小中学校の連携した教育を推進していくことといたしました。中学校区の連携を縦の連携とし、それを支える学校、家庭、地域の連携を横の連携と考え、熱

海市の教育に力を注いでいきたいと考えております。これからも熱海市が安定した教育を推進し、高い成果を上げるためには家庭、地域がそれぞれの連携と協働を視野に入れていく必要があると思っています。そのことを踏まえ、熱海の子ども達の健やかな成長を支援するような意見交換をさせていただいたら、ありがたいと思っています。本日はよろしく申し上げます。

#### (4) 議事

##### ①平成 29 年度教育行政の基本方針と主要施策について

教育委員会事務局より資料 1「平成 29 年度教育行政の基本方針と主要施策」にもとづき、認定子ども園整備事業の進捗、学校施設の修繕、校務支援システムの導入、ICT機器の活用、ALT 事業などについて説明がなされた。

#### 【質疑】

(委員)

校務支援システムの導入により、今まで、他の書類からの引用が多く、手作業で書類を作成するような仕事が減ってきていることは、大変に喜ばしいことですが、この結果、児童・生徒への関わりに対しては、どのような変化があったのでしょうか

(市長)

事務局、どうでしょうか。

(事務局)

当然のことながら、様々な書類作成等の事務作業が減っていけば、授業の準備などの子ども達への関わりの時間を多く取ることができると考えています。先日の新聞報道にもありましたが、教員の労働時間は、10 年前に比べて 1 日あたり 30 分から 40 分増加しているとのこと。そのような中で少しでも労働時間を短縮するとともに、教員が元気な顔で子ども達に接することができるように、これからも様々な支援をしていきたいと考えております。

(市長)

今、事務局より説明がありましたが、教員の皆さんが子ども達に関わる質的・量的な変化を促すことが大事だと考えて、この事業をスタートさせていただきました。学校現場は一般行政分野と比べ、オフィスオートメーション化が若干遅れている面があると思います。

(委員)

先ほども事務局が触れたとおり、教員の労働時間は増加しているとされています。しかし、部活動での遠征など、様々な場面での業務があり、実際に何時から何時まで働いたかを記録することは、かなり困難であり、難しいだろうと思われます。このように教員の労働時間については、客観的に証明しづらいことから、現在の教職員に対する給料

等の支給体制が確立したのだと思います。そのようなことは、今後改善していくべき課題であると考えますが、市長はどうお考えですか。

(市長)

ご指摘のとおり、客観的に証明するのは難しいだろうと思います。学校現場での労務管理に課題があることについては承知しています。大変難しい問題ではありますが、どんな解決策があるか研究をしてみたいと思います。

(委員)

教員の皆さんにおいても、教育力といいますか、教える力をつけること、また、伸ばすことが大事だと思います。本市教育委員会では「熱海教師塾」という教員の力を伸ばすための取り組みを始めております。この取り組みは、特に経験の浅い教員にとって、大変有意義なものと考えますが、市長はどのようにお考えでしょうか。

(市長)

若い教員の方が講師を招き勉強する機会なのですが、これは教育分野に限らず、日本全体で団塊の世代が退職されて、経験の浅い世代が中心になってきつつあります。先入観にこだわらないイノベーションが起こる可能性があると同時に、一方ではノウハウも途絶えてしまうリスクもあるかと思えます。そういう意味で、この取り組みは重要であり、若い先生同士の議論や交流の場になると思っております。

(委員)

ありがとうございます。そのために財政的な支援も必要かと思えますので、よろしくお願いします。

(市長)

わかりました。今年、少ない予算でスタートしましたが、今年度の状況を踏まえて、必要な対応をしていきたいと思えます。

(委員)

A L Tについて質問させていただきます。32年度の教育課程に完全導入されることを受けまして、A L Tの増員や英語教育に関わることなどに充実した予算を配慮いただいたことに対して改めてお礼申し上げます。このような厚い施策が行われたあとに、どのくらい効果が表れてきたのか、何かに表す必要があるかとも考えます。その点につきましては、市長はどのようなお考えをお持ちでしょうか。

(市長)

教育の効果測定のような大変難しい分野であります。例えばですが、英語検定やT O E I C・T O E F Lなどへの挑戦で実力を測ってほしいと思えます。また、そのような挑戦に対して応援できるような方策を考えて行きたいと思えます。

(市長)

他にいかがでしょうか。

教育委員の皆様方から無いようでしたら、私から一つ尋ねたいことがあります。網代小学校の放課後学習の検討について、説明をお願いします。

(事務局)

資料 2 (網代小放課後学習検討会 中間報告) をご覧ください。4 月 19 日までに 4 回の検討を進めて参りました。網代小保護者の皆様と教育委員会がコンセンサスを得るために、今後の網代小の放課後での学習検討について話をしてきたものです。現在まで進めてきた中で保護者の方のコンセンサスを得る段階に来ているかと思っています。検討内容は、網代という小規模特認校の特徴である英語教育の一層の充実を図ること、あるいは授業補完を図る英会話学習、民間事業者のノウハウを活かした学習活動をミックスして導入するのか、それとも英会話に特化するのか、網代小の魅力を更に向上させて通う生徒を増やしたい、あるいは減らさないようにしたいとの意図で検討を進めてきたものです。色々な案が出る中で、英語教育の拡充と学習活動の支援という意見に傾いてまいりました。今後、保護者の皆様のご意見が固まり次第、どのような活動を誰にどのように任せるかを学校教育課内で検討し、来年度の予算要求に向けた準備を進めたいと考えています。

(市長)

網代小放課後学習についてご意見はありますか。

(委員)

今ありましたように、網代小学校の取り組みが成功し、たとえば網代小に通う児童が増えることになれば、これは 1 つの成功例として小規模化の進む本市の小学校におけるパイロットケースになるものと考えますが、市長はどのようにお考えでしょうか。

(市長)

パイロットケースになるべくしたいと思いますが、市内での移動だけでなく、市外からの移動を呼び起こすことになれば、政策として大きな成功だと思います。今後、この取り組みをいつまで、どこまで続けるかの判断基準や時期の設定もテーマになってくると思います。

## ②図書館サービスの充実について

図書館長から資料 3「貴重な資料を保存・記録として残す方法等」をもとに説明がなされた。

【質疑】

(委員)

図書館サービス充実についてですが、先ほどの説明のとおり、資料の保管場所の確保と整備、デジタルライブラリー化やデジタルアーカイブも、本市の様々な貴重な郷土資料などの散逸や紛失を防ぐためにも必須のものではないかと思いますが、市長のお考え

があれば教えていただきたいと思います。

(市長)

郷土資料は熱海の宝だと思っています。4月10日に刊行した「熱海温泉誌」の作成過程においても資料の保存の意義、必要性についても再確認したところです。今後、どのような方法が経済的で実効性が高いかなどの研究をして、より良い保存について答えを出していきたいと考えております。

(市長)

本日予定をしておりました議事は、すべて終了いたしました。様々な意見交換をさせていただき、お礼を申し上げたいと思います。

本日の会議では、平成29年度の主要な事業についての取り組みと課題等の報告がございました。その解消・解決には今後も継続して検討を進めていきたいと思っています。総合教育会議の主旨でもありますが、行政と教育委員会が連携して課題に取り組んでいきたいと思っています。

昨年来、施設の老朽化が進む学校施設等をどのように改修していくかという一つの課題、認定こども園の建設場所をどこにするべきかという二つ目の課題をこの会議や視察をさせていただいた中で、答えを出して行った経緯がございます。学校施設は地域の拠点施設として、適切に施設改修、管理を行っていくという点と既存の施設の転用を十分考慮して有効に活用するなどの基本的な考えが、課題を解決する中で明らかになってきたと感じております。また、この様な場で議論し、答えを出していく中で市民の皆様にも方向性をお伝えできたのではないかと考えております。

これまで学校施設の改修や認定こども園建設などハードウェアが大きなテーマとしてあったわけですが、今後は学校での教育の内容、中身についても、教育委員の皆様とともに「熱海の特徴」、いわゆる「熱海らしさ」というものを、今以上に一層明確化していきたいと思っています。次回からの総合教育会議は、「熱海らしさを明確化する教育とは何か。」といった少し難しい議論を、教育長を始めとする各教育委員の皆様とともに進めていきたいと考えております。

今後とも、本市の教育の振興にご尽力賜うことをお願い申し上げます。

(5) その他

(事務局)

本会議の開催につきまして、昨年度の議論に基づき、今年度から特別に招集する場合を除き、2回開催させていただく予定です。次回は10月ごろの開催を予定しております。

6. 閉 会

(終了 16時10分)